

北海道真狩高等学校の行動計画(グローカル・アグリハイスクール宣言 PartⅡ)

全国の農業高校の行動計画		学校において令和7年度に重点化する取組及び具体的方策			
「5つのミッション」	「8の行動計画」	行動計画の中で重点化する取組	実現状況	課題	評価
I グローカル教育で人材を育てる学校	1 「生徒一人ひとりを一層輝かせ成長させる教育」を行います。	地域の特性を生かし、教育資源を活用することにより「有機農業コース」と「野菜製菓コース」やプロジェクト学習の充実、発展を図ります。	各コースにおける学習やプロジェクト活動は充実しており、その成果が農業クラブ3大事業の大会やコンテストなどの結果を見ても判断できます。	計画に基づくグローバルな視点を取り入れた学習活動に努めます。	5
	2 「世界と日本をつなぐグローカル教育」を行います。	インバウンドをいかした生徒の英語教育における実践機会を提供しグローカル教育を推進します。	教科「英語」においてALTを活用したパフォーマンステストなど、日常生活に必要な書く・聞く・話すことを生徒に身に着けさせることができます。	教科「英語」と「農業」間の教科横断的な取り組みの実施に努めます。	3
II 地域社会・産業に寄与する学校	3 「地域農業の生産を支える教育」を行います。	講演会や先進地視察を含めた担い手研修を実施します。 地域の特産物を中心とする持続可能な生物生産に取り組みます。	多くの講演会や北海道内の先進的な農家や関係機関を視察することができます。また、北大ラズベリーの北海道特産物化に向けたプロジェクトの実施など活動の幅が増えています。	各連携をとおして、地域に向けて本校の教育活動のさらなる発信に努めます。	5
	4 「地域の農業関連産業や6次産業化に寄与する教育」を行います。	日頃の学習を生かし、プロジェクト活動では地域貢献を意識した課題設定をし、関係機関と連携した専門教育を推進します。	プロジェクト活動では多くの農家や関係機関との連携とご協力をいただきており、先進的な活動に取り組むことができました。この成果をメディアや研究会での発表等で地域に広く発信することができます。	SNSなどを活用した広報活動による、本校の取り組みのさらなる発信に努めます。	4
III 地球環境を守り創造する学校	5 「地球環境を守り、創造する教育」を行います。	循環型社会意識を高め、安全・安心な農産物・加工品の生産・製造により地域への発進力を高めます。 環境創造を意識した循環型農業の圃場づくりに取り組みます。	有機農業コースでは有機JAS認証圃場の面積を大幅に増やすことができました。また、耕さない農業や環境再生農業について科学的に取り組んでいます。	本校認証制度に向けた取組の地域発信に向けた広報活動のさらなる充実と地域ネットワークの構築に努めます。	4
	6 「地域資源を活用し、地域振興の拠点となる教育」を行います。	村立学校の特色をいかし、保・小・中の連携学習や地域交流をとおして、農業教育活動を地域に広めます。	村内の保育所・小学校・中学校との農業交流は例年通り実施できました。また、本校主催の地域に向けた研修会では農家や関係機関など約80名が参加し実施することができました。	地域の拠点となる本校の先進的な活動の充実に努めます。	4
IV 地域交流の拠点となる学校	7 「Society5.0の時代に応じた教育」を行います。	創造社会に向けたスマート農業や持続可能な農業を推進します。	関係機関の協力のもと、環境再生農業の大規模経営化を目的とした不耕起播種機での播種を実施することができました。	タブレットを活用した生徒主体の圃場管理の導入などスマート農業学習の強化に努めます。	4
V 地域防災を推進する学校	8 「地域防災を推進する教育」を行います。	危険物取扱や普通救命講習の資格取得を推奨します。 校内防災をはじめ地域防災について意識を高め、各施設、設備、車両等の点検・管理に努め、生徒の安全教育を推進します。	危機管理マニュアルの点検と見直しを実施することができました。また、防災教育や安全教育として避難訓練や普通救命講習を実施することができました。	危機管理意識を高め管理記録の保管と情報共有に努めます。	3